

東京都立府中けやきの森学園校長の 泉 慎一（いずみ しんいち） でございます。

本校は、肢体不自由教育部門小学部、中学部、高等部、くぬぎ分教室（東京都立府中療育センター内）及び知的障害教育部門小学部、中学部、高等部を有する特別支援学校です。府中市の東に位置し、周りには味の素スタジアムをはじめとするスポーツ関連施設などがある、広大なエリアの中に位置します。

本校に在籍する児童・生徒には、本校での12年間の教育をとおして、卒業後の人生を生きていくための土台となる様々な資質・能力を身に付けてほしいと願っています。昨年度から、自他ともにより良く生きる「ウェルビーイング」を教育活動の理念に据えました。その手段として、一人一人異なる児童・生徒のQOL（クオリティ オブ ライフ「生活の質」）の向上を図っています。

ウェルビーイングを達成するための基本は信頼関係の構築であると考えます。児童・生徒、保護者の方の言葉や願いをしっかりと受け止める、そしてそれを目標や指導内容として返すというキャッチボールが大切です。コミュニケーションの力の向上と、伝達手段の獲得を目標にしながら学習を行い、児童・生徒が、自分が大切にされているという実感をもてるようにすることがウェルビーイングの第一段階です。そして、周りから受け止められているという感覚の下で、自分で状況をコントロールできるという実感をもてるようになることがウェルビーイングの第二段階となります。そこから一人一人が「自分らしく成長していく」ウェルビーイングに分化し、自尊感情、自己肯定感が育まれ、自立と社会参加に向けた力が生まれていくと考えます。また、本校を卒業した生徒は、様々な人とかかわりながら地域社会あるいはもっと広く世界で活躍していくこととなります。そのため、地域との連携を重視していきます。障害のある児童・生徒による共生社会の実現に向けて、地域の様々な活動へ参加する、地域の方々の力を借りる、本校の児童・生徒が地域貢献活動を行うなど具体的に取り組んでいきます。その際、対面で行うだけでなく、ICTをツールとして積極的に活動に取り入れていきます。

併せて児童・生徒が健康で安心・安全に学校生活をおくることができる環境を整えることをもう一つの柱として引き続き取り組みます。その際、児童・生徒が主体的にかかわる糸口として、持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいきます。教職員一同、専門性を高め、質の高い教育を提供できるよう、研鑽と実践を積んでまいります。

保護者・地域の皆様、関係諸機関の皆様、日頃から本校の教育に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。